

科目名称:	インテリア・コーディネート演習Ⅲ	
担当者名:	大場新之助、西田恵子、塩村亜希、森みち子、山本周	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	5
授業の目的・テーマ		
インテリアコーディネーターになるための知識や技術を身につけ、社会にとって価値ある能力を育む。また、インテリアコーディネーター資格取得のための本格的な学習に取り組む。		
授業の達成目標・到達目標		
インテリアコーディネートを実践するための高度な知識と技術を身につけ、課題を解決したり、独自の提案をインテリアコーディネートを通し行える。また、インテリアコーディネーター資格を取得する。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)	20		80		100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》大場新之助：デザイナー	《経験年数1》 14年
	《内容2》山本周：建築士	《経験年数2》 14年
	《内容3》西田恵子：インテリアコーディネーター、講師	《経験年数3》 27年
	《内容4》塩村亜希：建築士(住宅、店舗設計)インテリアコーディネーター、企画広報デザイナー(兼任)	《経験年数4》 27年
	《内容5》森みち子：建築士(一般住宅設計)、インテリアコーディングネーター	《経験年数5》 12年
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識	インテリアコーディネートに関する知識がよく身につけていて、それをもとに問題解決できる。	インテリアコーディネートに関する知識が身につけていて、それをもとに問題解決しようとしている。	インテリアコーディネートに関する知識を持っている。	インテリアコーディネートに関する知識があまり身につけていない。
表現力	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に感動を与える魅力的な提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に伝わる提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いているが分かりにくく魅力がない。
行動力	事前準備や調査が十分にできている。興味がある分野を独自に研究できる。	事前準備や調査ができている。興味がある分野がある。	事前準備や調査ができている。	事前準備や調査を怠っている。
プレゼンテーション力	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。説得力ある主張ができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えようとしている。	自分の考えや提案がまとまっておらず、理解し難い。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 地域に関わる課題を見つけて制作する (1週)	「千代女」の人物像や俳句が作られた時代背景、俳句についても調べておく	300分
第2回 資格試験1次対策最終・振り返り	過去の問題集を解き、答案用紙をもとに自己採点しておく	300分
第3回 インテリアコーディネート演習1/資格試験2次対策1	演習課題に対するアイデア出し・制作/平面プランについて復習しておく	300分
第4回 インテリアコーディネート演習2/資格試験2次対策2	演習課題に対するアイデア出し・制作/立・断面図について復習しておく	300分
第5回 インテリアコーディネート演習3/資格試験2次対策3	演習課題に対するアイデア出し・制作/アイソメ図について復習しておく	300分
第6回 インテリアコーディネート演習4/資格試験2次対策4	演習課題に対するアイデア出し・制作/パースについて復習しておく	300分
第7回 インテリアコーディネート演習5/資格試験2次対策5	演習課題に対するアイデア出し・制作/論文の書き方について復習しておく	300分
第8回 インテリアコーディネート演習6/資格試験2次対策6	演習課題に対するアイデア出し・制作/プレゼンテーションについて復習しておく	300分
第9回 インテリアコーディネート演習7/資格試験2次対策7	演習課題に対するアイデア出し・制作/過去問題集を解いておく	300分
第10回 資格試験2次対策最終	演習課題に対するアイデア出し・制作/過去問題集を解いておく	300分
第11回 インテリアコーディネート演習8	演習課題に対するアイデア出し・制作	300分
第12回 卒業制作中間審査(5割以上の完成)	作品の進捗報告と展示についての構想を進めておく	300分
第13回 インテリアコーディネート演習9	演習課題に対するアイデア出し・制作	300分
第14回 卒業制作最終審査(8割以上の完成)制作中の作品についてのプレゼンテーション	作品の進捗報告と展示についての構想をまとめておく	300分
第15回 作品展示についての研究	どのようなプレゼンテーションが効果的か調べておく	300分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、課題にかかわらず社会の動向や環境に関して興味をもち行動すること。インテリア・コーディネーター資格試験の予習復習を怠らないことが必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。

ルーブリックによる課題の評価80% インテリア・コーディネート資格試験の結果、または模試の結果20%

課題に対してのフィードバック

それぞれの課題を、プレゼンテーション等を通して、各教員がルーブリック等を参考に評価しフィードバックする。資格試験合格に向けて小テストを定期的の実施し、苦手をなくせるよう口頭またはコメントシートでフィードバックする。

教科書・参考書

教科書：「インテリアコーディネーター合格テキスト」座学で主に使います
「高校生から始めるJw_cad建築製図入門」コンピュータでの図面作成方法が学べます
「インテリアコーディネーター1次試験 過去問題徹底研究2021 上下巻」予習復習で使用します
及び 授業時に各教員から紹介またはプリント配布